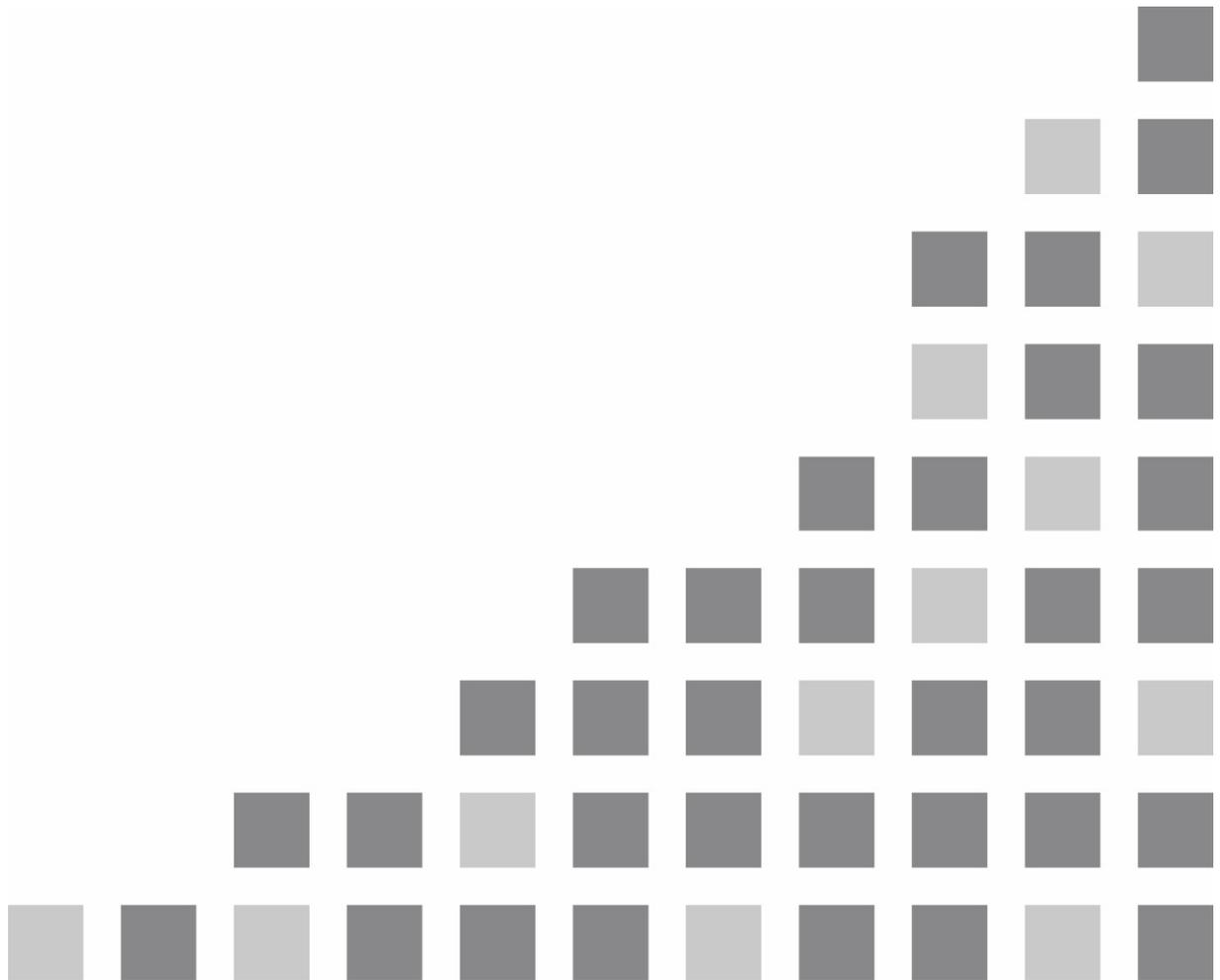

Adobe Premiere Pro、Adobe After Effects 用 Clip ファイル変換プラグイン



内容

1. はじめに.....	3
1.1. 概要.....	3
1.2. 必要システム構成.....	4
1.3. Premiere Pro / After Effects について	5
1.3.1. 用語説明.....	5
2. ソフトウェア構成.....	6
3. CLP インポーター機能.....	8
3.1. 概要.....	8
3.2. CLP 対応フォーマット.....	8
3.2.1. 対応フォーマット一覧.....	8
3.2.2. 音声データ	9
4. CLP エクスポーター機能.....	10
4.1. 概要.....	10
4.2. CLP 対応フォーマット.....	10
4.2.1. 対応フォーマット一覧.....	10
4.2.2. 最大デュレーション.....	11
4.2.3. 音声データ	12
4.3. パラメーター	12
4.4. エクスポートの流れ.....	12
5. インストール	14
5.1. インストール方法	14
5.2. デプロイメント.....	14
6. 操作方法.....	15
6.1. CLP インポート方法.....	15
6.1.1. Premiere Pro の場合.....	15
① ドラッグ&ドロップ.....	15
② メニューから読み込み	15
③ コンテキストメニューから読み込み	16
6.1.2. After Effects の場合	17
① ドラッグ&ドロップ.....	17
② メニューから読み込み	17
③ コンテキストメニューから読み込み	18
6.2. CLP エクスポート方法.....	19
6.2.1. Premiere Pro の場合.....	19
6.2.2. After Effects の場合	20

1. はじめに

1.1. 概要

「Adobe Premiere Pro、Adobe After Effects 用 Clip ファイル変換プラグイン」(以降、CLP インポーター、CLP エクスポーターと記述する)は、ライブスイッチャーAV-HS6000/AV-HS73000 で使用する動画(Clip)用独自コーデック「CLP」に対応した、アドビシステムズ社製のノンリニア編集ソフトウェア Adobe Premiere Pro、及び、Adobe After Effects のインポーター、エクスポータープラグインです。CLP インポーター、CLP エクスポーターは、以下に示す機能を持ちます。

- **CLP インポーター**

- CLP 形式のファイルを Adobe Premiere Pro/Adobe After Effects でインポートする機能

- **CLP エクスポーター**

- Adobe Premiere Pro/Adobe After Effects のシーケンス/コンポジションを、CLP 形式でエクスポートする機能

CLP インポーター、CLP エクスポーターは、Premiere Pro CC, CC 2014、After Effects CC, CC2014 で使用することが可能です。

1.2. 必要システム構成

CLP インポーター、CLP エクスポーターの必要システム構成を表 1-1 に示します。
(Adobe Premiere Pro CC、After Effects CC の必要システム構成に準じます)

表 1-1 必要システム構成

項目	説明
対応ホストアプリケーション	Adobe Premiere Pro CC、CC 2014 Adobe After Effects CC、CC 2014
OS	Microsoft Windows 7 64-bit SP1 Microsoft Windows 8 64-bit Apple Mac OS X v10.8、v10.9
CPU	Intel Core2 Duo または AMD Phenom II 以上、 64 ビット対応 CPU
RAM	4GB 以上 (8GB 以上推奨)
ディスプレイ	1280x800 以上の解像度

※Microsoft、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Apple、Mac OS X および Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

※Adobe、Adobe ロゴ、Premiere Pro および After Effects は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の商標です。

※Intel、インテル、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※AMD、AMD Phenom は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

1.3. Premiere Pro / After Effects について

1.3.1. 用語説明

表 1-2 用語説明

用語	説明
共通	
ファイル	ディスクに存在するファイル
プロジェクト	シーケンス/コンポジションの集まり。プロジェクト上で複数のシーケンス/コンポジションを管理して、映像の編集を行う。
Media Encoder	Adobe のエンコード専用ソフトウェア。Premiere Pro、After Effects から呼び出してレンダリングを行うことが可能。
インポート	CLP などのファイルを Premiere Pro/After Effects で読み込むこと。
エクスポート	シーケンス/コンポジションの内容をファイルに書き出して出力すること。
レンダリング	映像をエンコードしてファイル出力すること。
Premiere Pro	
シーケンス	Premiere Pro で使用。クリップの集まり。シーケンス上にクリップを配置していき、映像を作成する。シーケンス上にシーケンスを配置することも可能。
クリップ	映像編集の最小単位。複数のクリップを組み合わせ、映像を作成する。
書き出し	シーケンス上の素材をエンコードしてファイル出力すること。
After Effects	
コンポジション	After Effects で使用。レイヤーの集まり。コンポジション内で複数のレイヤーを配置していき、映像を作成する。コンポジション上にコンポジションを配置することも可能。
レイヤー	映像合成の最小単位。複数のレイヤーを重ねて合成映像を作成する。

2. ソフトウェア構成

ソフトウェア構成を以下に示します。

表 2-1 ソフトウェア構成要素一覧

構成要素	概要
Adobe Premiere Pro	動画編集ソフトウェア。
Adobe After Effects	動画合成ソフトウェア。
Adobe Media Encoder	動画エンコードソフトウェア。
CLP インポーター	CLP 形式のファイルを読み込むためのインポートプラグイン。Premiere Pro、After Effects、Media Encoder で共通のバイナリを使用する。
CLP エクスポーター	CLP 形式のファイルを出力するためのエクスポートプラグイン。Premiere Pro、Media Encoder で共通のバイナリを使用する。

図 2-1 にソフトウェア構成図を示します。

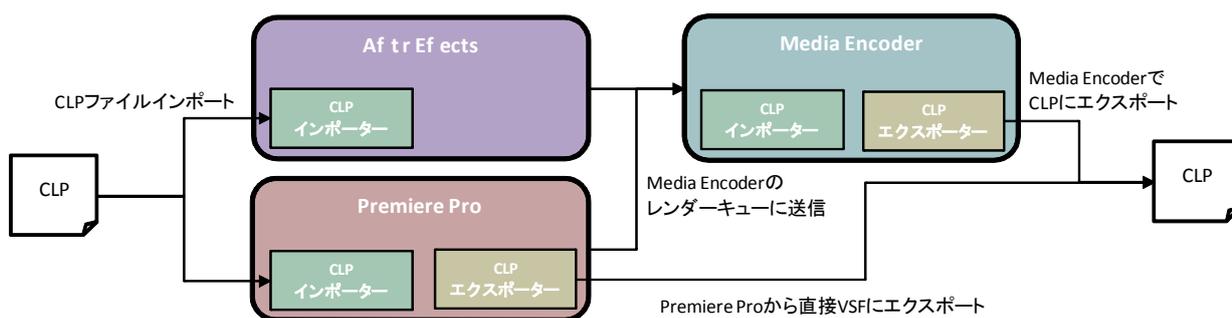


図 2-1ソフトウェア構成図

CLP インポーターをプラグインとしてインストールすると、CLP 形式のファイルを編集用クリップとして扱うことが可能となります。CLP インポーターは Premiere Pro、After Effects、Media Encoder 共通のプラグインとして使用します。

CLP エクスポーターをプラグインとしてインストールすると、編集結果を CLP 形式でエクスポートすることが可能となります。CLP エクスポーターは Premiere Pro、Media Encoder 共通のプラグインとして使用します。

Premiere Pro で編集したシーケンスを CLP 形式でエクスポートする方法は、下記の二通りがあります。

- Premiere Pro から直接 CLP 形式にエクスポート
- Premiere Pro から Media Encoder のレンダーキューにシーケンスを送信し、Media Encoder で CLP 形式にエクスポート

一方、After Effects で CLP 形式をエクスポートする場合は、Media Encoder 経由でのエクスポートとなります。After Effects から Media Encoder のレンダーキューにコンポジションを送信し、Media Encoder にて CLP 形式にエクスポートします。

本文書は、以上の構成要素のうち、「CLP インポーター」「CLP エクスポーター」の機能について記述します。

3. CLP インポーター機能

3.1. 概要

CLP インポーターは、Premiere Pro、After Effects で CLP ファイルを読み込むための機能を持ちます。

3.2. CLP 対応フォーマット

3.2.1. 対応フォーマット一覧

CLP インポーターは、下記フォーマットの CLP ファイルをインポートできます。

表 3-1 CLP対応フォーマット(インポート)

Mode	画角	アルファ	フレームレート	備考
High	1920x1080 (1088)	あり	59.94i	
			59.94p	
			50i	
			50p	
			23.98psf	
			24psf	
		なし	59.94i	
			59.94p	
			50i	
			50p	
			23.98psf	
			24psf	
	1280x720	あり	59.94p	
			50p	
		なし	59.94p	
			50p	
720x480 (512)	あり	59.94i	Aspect 比は 0.9091 として読み込む	
	なし	59.94i	Aspect 比は 0.9091 として読み込む	
720x576	あり	50i	Aspect 比は 1.0940 として読み込む	
	なし	50i	Aspect 比は 1.0940 として読み込む	
Standard	1920x1080 (1088)	あり	59.94i	
			59.94p	
			50i	
			50p	
			23.98psf	
			24psf	
		なし	59.94i	
			59.94p	
			50i	
			50p	
			23.98psf	
			24psf	
	1280x720	あり	59.94p	
			50p	
		なし	59.94p	
			50p	
	720x480 (512)	あり	59.94i	Aspect 比は 0.9091 として読み込む
		なし	59.94i	Aspect 比は 0.9091 として読み込む
	720x576	あり	50i	Aspect 比は 1.0940 として読み込む
		なし	50i	Aspect 比は 1.0940 として読み込む

3.2.2. 音声データ

表 3-1 の各フォーマットについて、音声あり、音声なしの CLP ファイルをインポートすることができます。

4. CLP エクスポーター機能

4.1. 概要

CLP エクスポーターは、Premiere Pro、After Effects(Media Encoder)で CLP ファイル形式を出力するための機能を持ちます。

4.2. CLP 対応フォーマット

4.2.1. 対応フォーマット一覧

CLP エクスポーターは、表 4-1 に示すフォーマットの CLP ファイルをエクスポートできます。ここで、CLP 出力フォーマットに対応する、シーケンス/コンポジション設定の一覧を表 4-2 に示します。

表 4-1 CLP対応フォーマット(エクスポート)

Mode	画角	アルファ	フレームレート
High	1920x1080 (1088)	あり	59.94i
			59.94p
			50i
			50p
			23.98psf
			24psf
		なし	59.94i
			59.94p
			50i
			50p
			23.98psf
			24psf
	1280x720	あり	59.94p
			50p
		なし	59.94p
			50p
59.94i			
59.94i			
720x480 (512)	あり	59.94i	
	なし	59.94i	
	720x576	あり	50i
		なし	50i
Standard	1920x1080 (1088)	あり	59.94i
			59.94p
			50i
			50p
			23.98psf
			24psf
		なし	59.94i
			59.94p
			50i
			50p
			23.98psf
			24psf
	1280x720	あり	59.94p
			50p
		なし	59.94p
			50p
			59.94i
			50p

Mode	画角	アルファ	フレームレート
	720x480 (512)	あり	59.94i
		なし	59.94i
	720x576	あり	50i
		なし	50i

表 4-2 CLP出力フォーマットとシーケンス/コンポジション設定の対応

CLP 出力形式	シーケンス/コンポジション設定
1920x1080 59.94i	1920x1080 29.97 フレーム/秒 偶数/奇数フィールドから
1920x1080 59.94p	1920x1080 59.94 フレーム/秒 プログレッシブ
1920x1080 50i	1920x1080 25 フレーム/秒 偶数/奇数フィールドから
1920x1080 50p	1920x1080 50 フレーム/秒 プログレッシブ
1920x1080 23.98psf	1920x1080 23.98 フレーム/秒 プログレッシブ
1920x1080 24psf	1920x1080 24 フレーム/秒 プログレッシブ
1280x720 59.94p	1280x720 59.94 フレーム/秒 プログレッシブ
1280x720 50p	1280x720 50 フレーム/秒 プログレッシブ
720x480 59.94i	720x480 29.97 フレーム/秒 偶数/奇数フィールドから
720x576 50i	720x576 25 フレーム/秒 偶数/奇数フィールドから

4.2.2. 最大デュレーション

Compression Level(CLP 圧縮率)によってエクスポートできる最大デュレーションを設けます。パラメーターによってデュレーションチェックが有効になっているとき、最大デュレーションを超えたフレームのエンコードは行いません。その場合、エンコード終了時に警告を表示します。

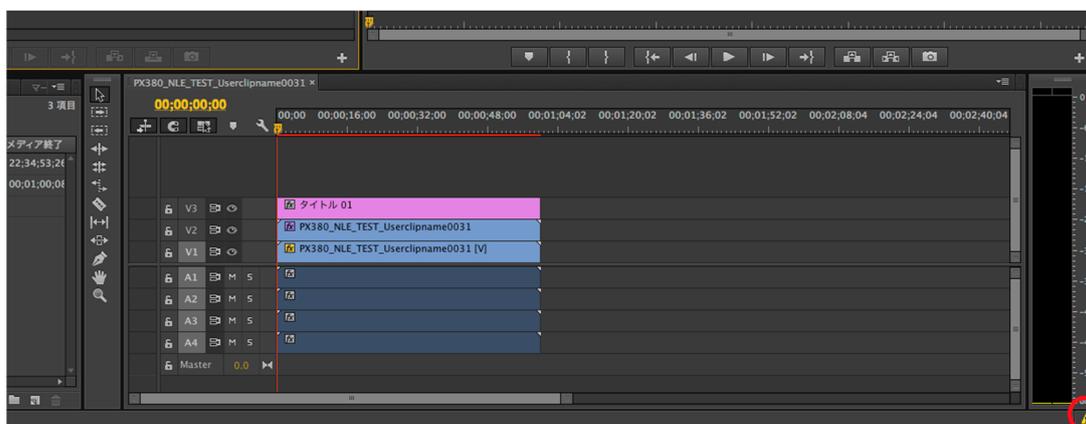


図 4-1 最大デュレーションを超えたエンコード時の警告表示(Premiere Proの例)

Compression Level による最大デュレーションを以下に示します。

表 4-3 Compression Levelによる最大デュレーション

Compression Level	最大デュレーション	
	CLP 出力フォーマット 1920x1080/59.94p, 50p の場合	左記以外の CLP 出力フォーマットの場合
High	15 秒	30 秒
Standard	30 秒	60 秒

4.2.3. 音声データ

シーケンス/コンポジションに音声が含まれる場合には、「16bit 48kHz 2ch(Stereo) 非圧縮」に変換の上、CLP ファイルに出力されます。

4.3. パラメーター

CLP エクスポーター設定できるパラメーターを以下に示します。

表 4-4 エクスポートパラメーター

パラメーター名	種別	デフォルト	説明
Compression Level	ラジオボタン	High	CLP 変換時の圧縮率を選択する。 High : 圧縮率 0.25 Standard : 圧縮率 0.5
Alpha Channel	チェックボックス	ON	アルファの有無を選択する。 ON : アルファあり OFF : アルファなし
Duration Check	チェックボックス	OFF	デュレーションチェックの有無を選択する。 ON : デュレーションチェックを行う OFF : デュレーションチェックを行わない
Format	ドロップボックス	-	CLP フォーマットを選択する。

4.4. エクスポートの流れ

エクスポート時の流れ図を以下に示します。

エクスポート開始時に、シーケンス/コンポジション設定が対応しているフォーマットであることを確認します。未対応のフォーマットの場合、エラーメッセージを出力して終了します。対応フォーマットについては 4.2.1 節を参照してください。

また、Duration Check パラメーターの ON/OFF によって動作が変わります。

Duration Check (Limit)=ON の場合、

1. CLP 出力形式 1920x1080 59.94p,もしくは 1920x1080 50p の場合
Compression Level(Mode)=High で 15 秒、Compression Level (Mode)=Standard で 30 秒を超えたフレームのエンコードは行わずに終了します。
2. 1.以外の出力形式の場合、
Compression Level(Mode)=High で 30 秒、Compression Level (Mode)=Standard で 60 秒を超えたフレームのエンコードは行わずに終了します。

Duration Check (Limit)=OFF の場合、デュレーションによらず最後までエンコードを行います。

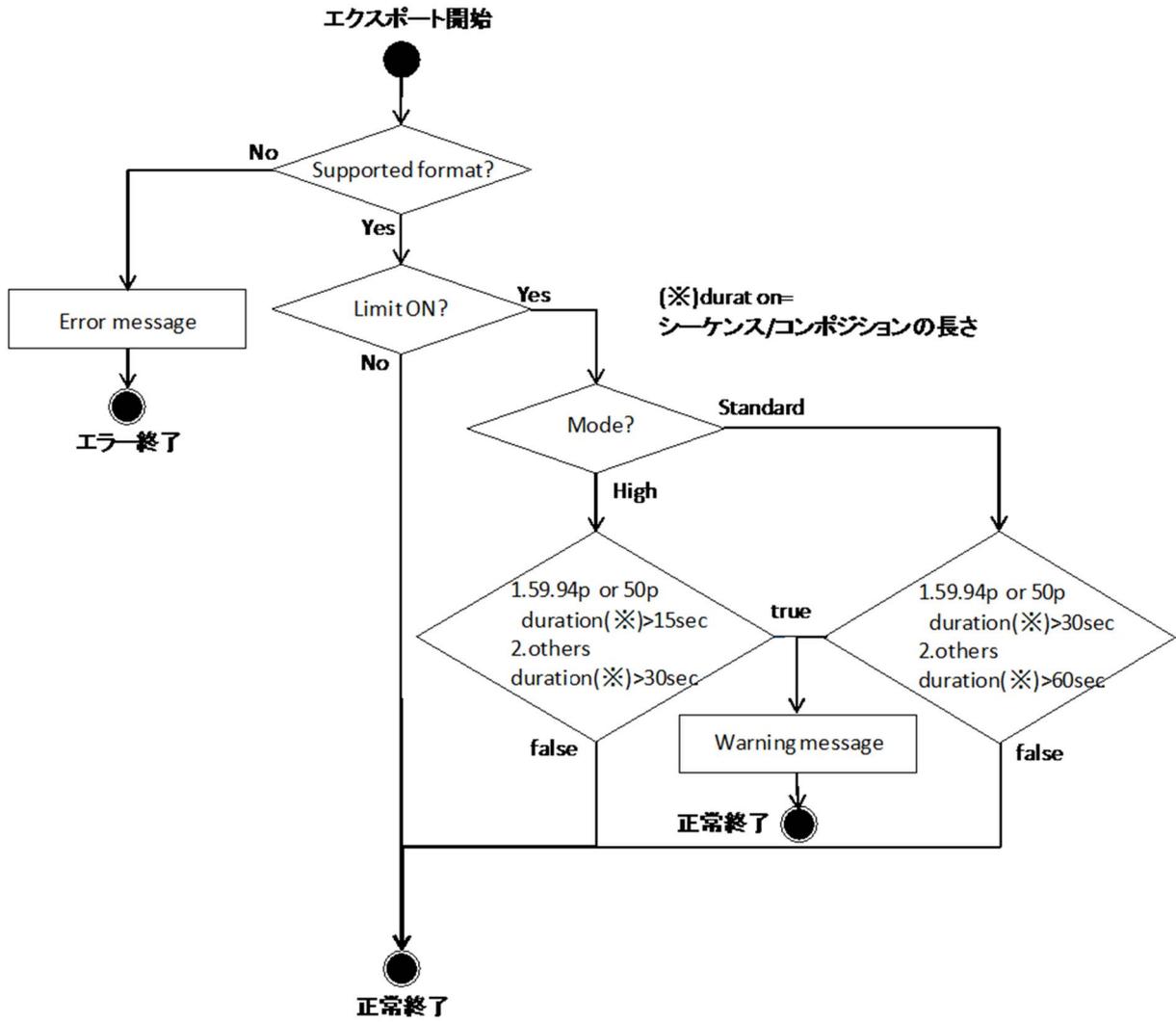


図 4-2 エクスポートフロー図

5. インストール

5.1. インストール方法

Web サイトから、お使いになる OS 環境に応じた圧縮パッケージを取得し、これを展開します。展開した ClipPluginInstaller を起動し、画面の指示に従ってインストール作業を実行してください。

5.2. デプロイメント

CLP インポーター、CLP エクスポーターに必要なファイルと、インストール場所を以下に示します。

表 5-1 デプロイメント(Windows)

ファイル名	説明	インストール場所
ImporterCLP.prm	CLP インポーター	C:\Program Files ¥Adobe¥Common¥Plug-ins¥7.0¥MediaCore¥ ※Premiere Pro のインストール先によって異なる。
ExporterCLP.prm	CLP エクスポーター	C:\Program Files ¥Adobe¥Common¥Plug-ins¥7.0¥MediaCore¥ ※Premiere Pro のインストール先によって異なる。

表 5-2 デプロイメント(Macintosh)

ファイル名	説明	インストール場所
ImporterCLP.bundle	CLP インポーター	/Library/Application Support/Adobe /Common/Plug-ins/7.0/MediaCore/
ExporterCLP.bundle	CLP エクスポーター	/Library/Application Support/Adobe /Common/Plug-ins/7.0/MediaCore/

6. 操作方法

6.1. CLP インポート方法

6.1.1. Premiere Pro の場合

Premiere Pro で CLP ファイルをインポートする方法は、下記 3 通りです。

- ① ドラッグ&ドロップ
- ② メニューから読み込み
- ③ コンテキストメニューから読み込み

① ドラッグ&ドロップ

エクスプローラー、もしくは Finder から、CLP ファイルを直接「プロジェクト」タブにドラッグ&ドロップします。

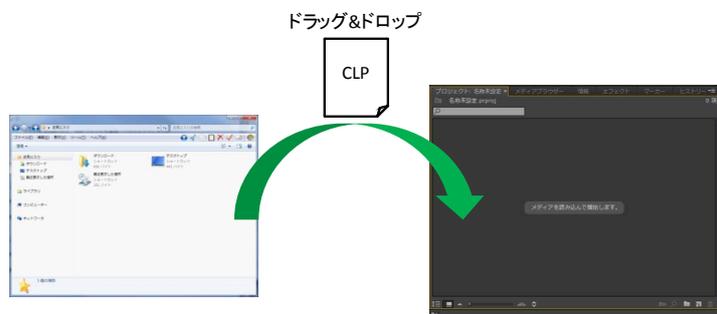


図 6-1 ドラッグ&ドロップによる読み込み

② メニューから読み込み

「ファイル」-「読み込み」からファイル選択ダイアログを起動し、CLP ファイル(*.clp)を選択します。



図 6-2 ドラッグ&ドロップによる読み込み

③ コンテキストメニューから読み込み

「プロジェクト」タブ上で右クリック (Ctrl+クリック)をしてコンテキストメニューを表示し、「読み込み」を選択します。

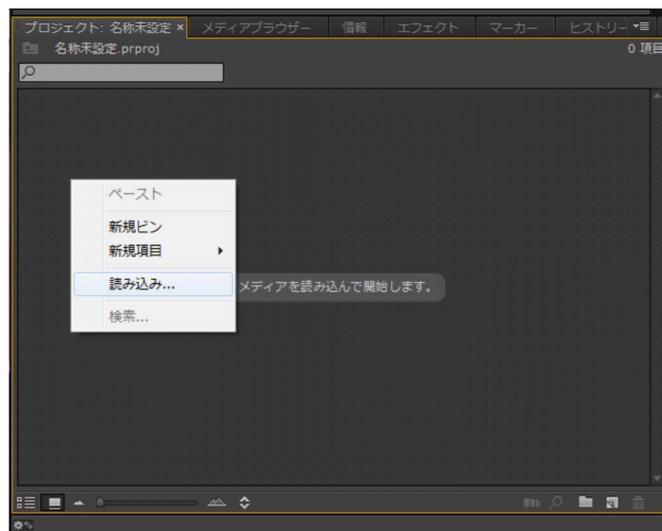


図 6-3 コンテキストメニューから読み込み

6.1.2. After Effects の場合

After Effects で CLP をインポートする方法は、下記 3 通りです。

- ①ドラッグ&ドロップ
- ②メニューから読み込み
- ③コンテキストメニューから読み込み

① ドラッグ&ドロップ

エクスプローラー、もしくは Finder から、CLP ファイルを直接「プロジェクト」タブにドラッグ&ドロップします。

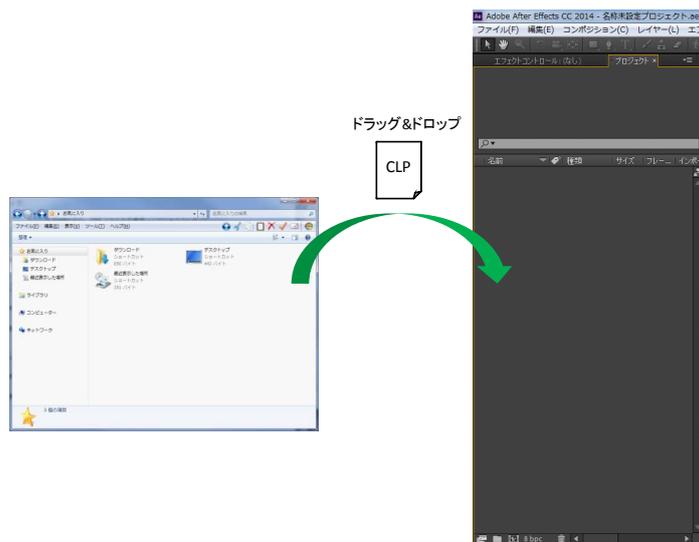


図 6-4 ドラッグ&ドロップによる読み込み

② メニューから読み込み

「ファイル」-「読み込み」-「ファイル」からファイル選択ダイアログを起動し、CLP ファイル(*.clip)を選択します。

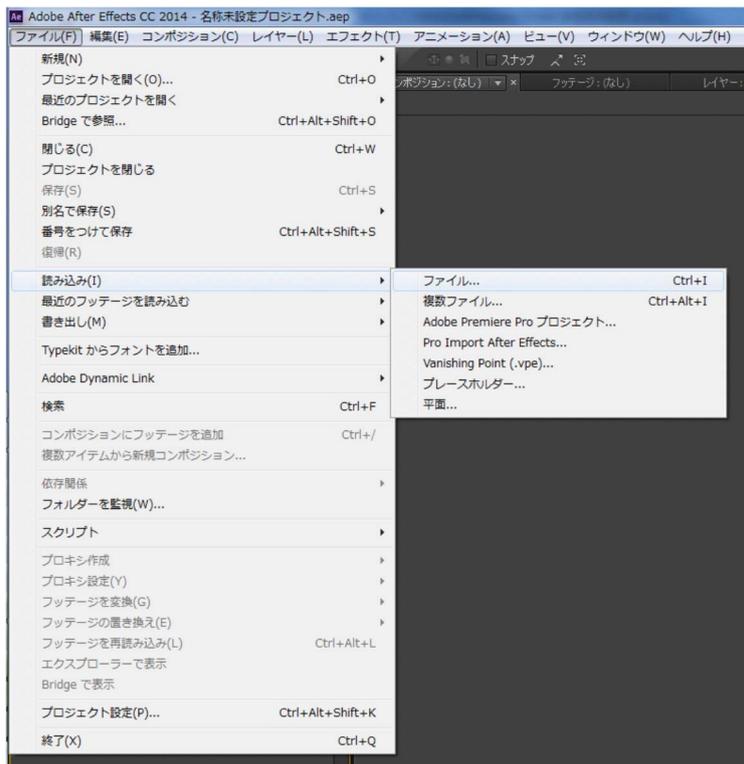


図 6-5 メニューから読み込み

③ コンテキストメニューから読み込み

「プロジェクト」タブ上で右クリック (Ctrl+クリック)をしてコンテキストメニューを表示し、「読み込み」-「ファイル」を選択します。

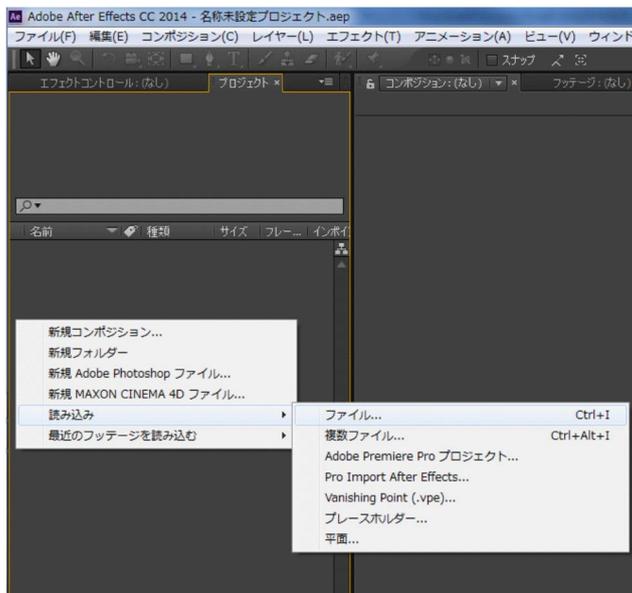


図 6-6 コンテキストメニューから読み込み

6.2. CLP エクスポート方法

6.2.1. Premiere Pro の場合

Premiere Pro によりエクスポートしたいシーケンスを選択した状態で、「ファイル」-「書き出し」-「メディア」を選択します。



図 6-7 書き出し設定ダイアログの起動

書き出し設定ダイアログで、下記の設定をします。

- 「形式」に CLP を選択します。
- 「出力名」で出力先パスを設定します。
- 「ビデオ」タブで、「Compression Level」「Alpha Channel」「Duration Check」「Format」を設定します。
- 「書き出し」ボタンを押します。

(ここで「キュー」ボタンを押すと、Media Encoder が起動します。エクスポートも Media Encoder で行うことになります。)

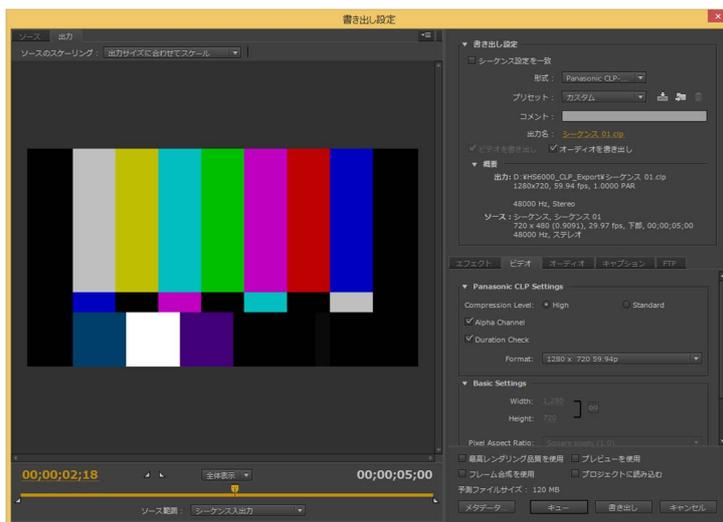


図 6-8 書き出し設定

6.2.2. After Effects の場合

After Effects によりエクスポートしたいコンポジションを選択した状態で、「コンポジション」-「Adobe Media Encoder キューに追加」を選択します。

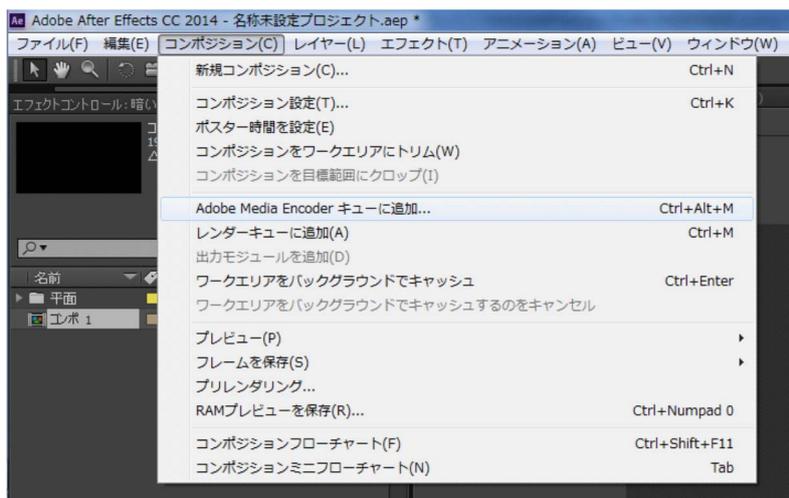


図 6-9 Media Encoderの起動

Media Encoder が起動してしばらくすると、「キュー」タブに今追加したコンポジションが表示されます。追加したコンポジションの「形式」列をクリックします。

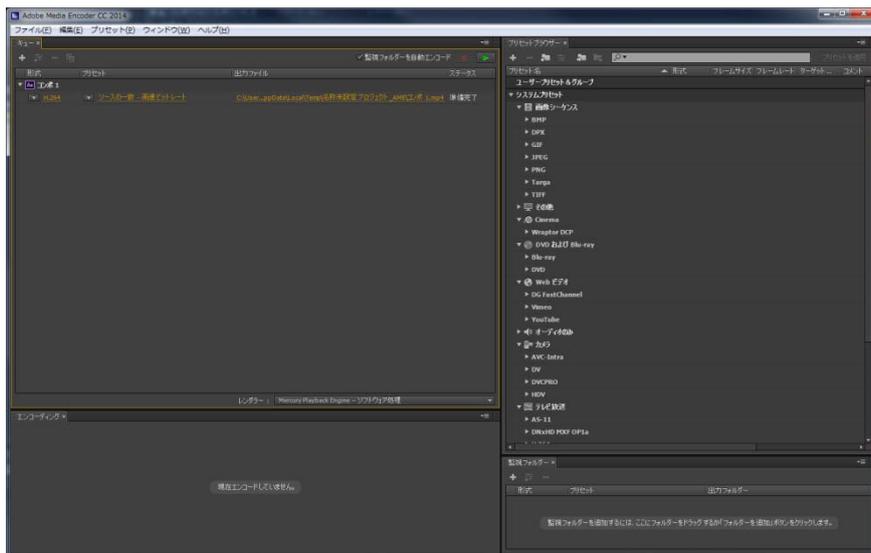


図 6-10 Adobe Media Encoder

書き出し設定ダイアログで、下記の設定をします。

- 「形式」に CLP を選択します。
- 「出力名」で出力先パスを設定します。
- 「ビデオ」タブで、「Compression Level」「Alpha Channel」「Duration Check」「Format」を設定します。
- 「OK」ボタンを押します。

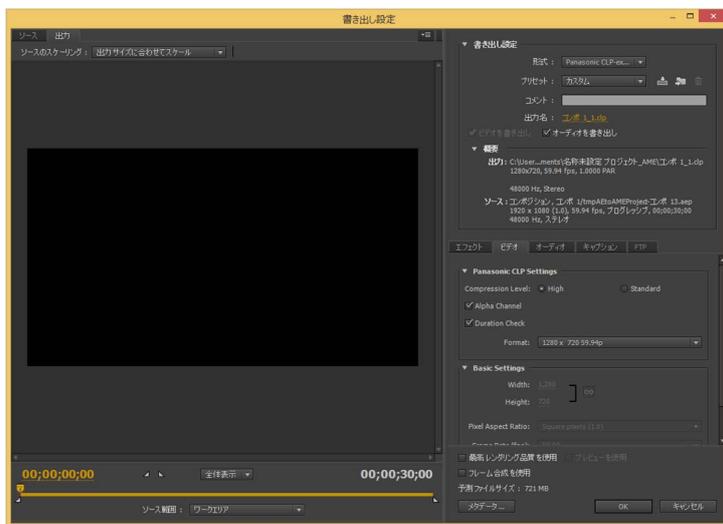


図 6-11 書き出し設定

「キュー」タブにある再生ボタンをクリックすると、エクスポートが開始されます。